

# 第52期 報告書

平成24年3月1日 ▶ 平成25年2月28日



「新鮮  
わくわく  
驚き」新しい

youme





代表取締役社長

山西 泰明

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当期における小売業を取り巻く環境について、需要面では企業業績の低迷により夏冬賞与が大幅ダウンし消費者の節約志向が一段と高まりました。供給面では、業態の枠を超えた出店増加や価格訴求を強める動きが広がりました。

当社グループにおいては、創業50周年の節目を迎えた前期に続き、当期を更なる飛躍を遂げるための挑戦と革新の一年と位置づけ、ご提供する商品・サービスをお客様の視点で見直しました。

特に、当社グループの中核事業である小売事業では、引き続き“いいものを安く”をスローガンに掲げ、品揃えや価格設定を見直すとともに原価低減に努めました。とりわけ、衣料品部門においては、若い世代のお客様にご満足いただける最新ファッションをリーズナブルな価格でご提供する取り組みを進めました。

また、直営各部門では、前期に引き続き新規事業の開発に取り組み、書籍・ペーカリー等の導入により店舗の付加価値向上に努めました。さらに、テナント部門では、有力テナントへの入れ替えを促進し、既存店舗の競争力向上を図りました。

店舗面では、今後の小商圈型店舗の積極出店に備えて、その集客力と収益性を改善すべく、従来の食品を中心とした品揃えに加えて医薬品等の非食品分野を拡充しました。さらに、オペレーション・コストの低減を図る取り組みを推し進めました。

コスト面では、総労働時間の削減やパート・アルバイトの活用による人件費の抑制を図りました。また、店舗の後方

庫の削減や作業方法の見直しにより生産性や商品鮮度・値下ロスの改善に努めるとともに、販促費等諸経費全般につき費用対効果を見定め節減を図りました。

小売周辺事業においては、前年に引き続き取り組んできたショッピング時のクレジット利用推進や電子マネー「ゆめか」の利用拡大により、これらの取扱手数料収入が順調に増加しました。特に、電子マネー「ゆめか」は、取扱先の拡充や顧客利便性の向上により会員数が急速に増加しており(前期末45万人、当期末116万人)、高い店頭利用率と相まって、当社グループ全体の集客力の向上やレジ効率の改善に貢献しました。

これらの結果、当期の営業成績は増収増益となり、過去最高益を更新することができました。

そして、その成果を株主の皆様に戻元させていただくべく、配当金を増配させていただきました。さらに、自己株式につきましても、期中に6,024千株を取締役会決議により取得しており、株主還元と資本効率の改善を図りました。

次期につきましては、依然として雇用や所得環境は厳しく、個人消費は伸び悩むことが予想されます。当社グループといたしましては、お客様ニーズを見極めこれにきめ細かく対応してゆくとともに、引き続き“いいものを安く”の実現に取り組んでまいります。また、小商圈型店舗を8店舗新設(中国地方5店舗、九州地方3店舗)する予定であり、地域シェアの増大と企業成長を実現してまいります。

株主の皆様におかれましては引き続きご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

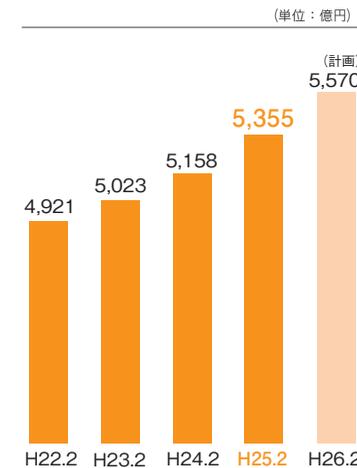
進化し、深化する「youme」を  
地域になくしてはならない存在。私たちは「地域一番店」を目指します。



連結財務ハイライト

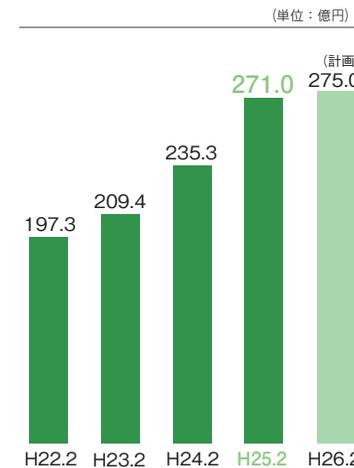
営業収益

5,355 億円	前年同期比
	103.8 %



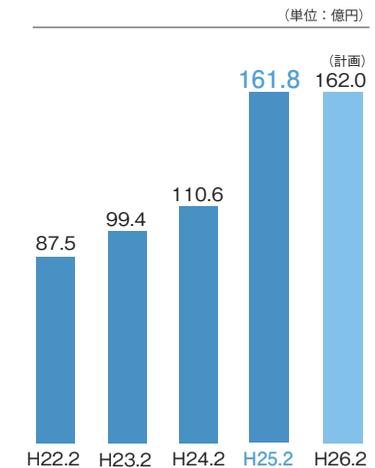
経常利益

271.0 億円	前年同期比
	115.1 %

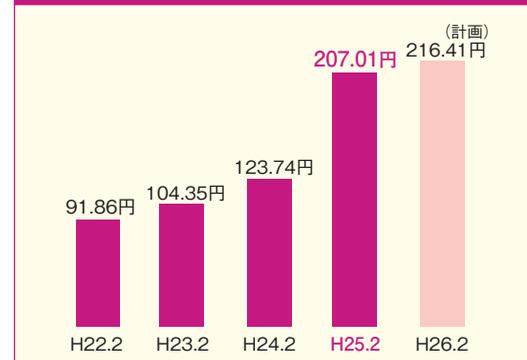


当期純利益

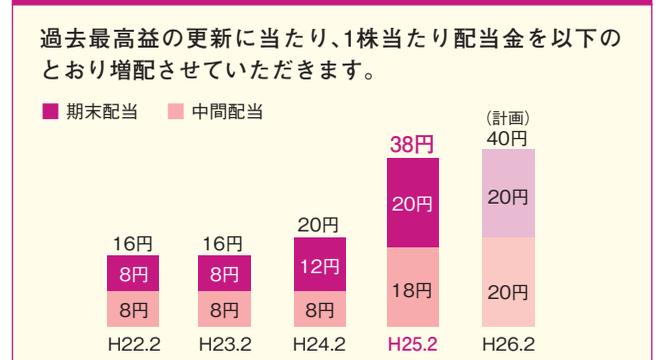
161.8 億円	前年同期比
	146.3 %



1株当たり当期純利益



1株当たり配当金



過去最高益の更新に当たり、1株当たり配当金を以下のとおり増配させていただきます。

■ 期末配当 ■ 中間配当

## 平成25年秋、広島市の表玄関に新本社竣工！ ここを拠点に、ゆめのある「1兆円企業」を目指します！

広島市の表玄関・JR広島駅に隣接する「二葉の里地区」では、現在、国と広島県、広島市、JR西日本などが協力しあって大規模な都市開発事業が進められています。広島経済圏を牽引する広域的ビジネスと先端医療の拠点となることが期待される「二葉の里地区」の中心部に、イズミはいち早く新本社進出を決定。同エリアでのプロジェクトの先駆けとして、秋の竣工を目指して工事を進めています。



新本社は地上6階・地下1階建で、地下には150台収容の駐車場、1階部分に「youme マート」を出店。2階から6階までが、イズミ本社オフィスとなります。そのビルコンセプトは「コミュニケーション」「IT・セキュリティ」「ローコスト・エコロジー」の3本柱。全国各地から商談などで来社される皆様とのコミュニケーションを豊かにするだけでなく、屋上緑化や自然換気など、快適や安全、省エネを実現するさまざまな工夫を採り入れた設計となっています。イズミグループは、「1兆円企業」を目指して新しいフェーズに突入しましたが、新本社はそのための司令塔となる基地です。これから飛躍的な発展が期待される「二葉の里地区」の成長パワーを追い風にして、さらに成長スピードを加速していきます。



### 店舗戦略 ① 「廿日市大型店舗プロジェクト」

## ゆめタウン史上、最大級の「わくわく」店舗を 廿日市シビックコア地区に出店！

イズミの成長戦略に欠かせない中核的店舗「ゆめタウン」は、地域密着の基本方針により、地域活性化を支援する役割も果たしています。来年度、ゆめタウンが広島県廿日市市の中心地シビックコア地区へ新規出店します。そこは市役所を中心に新しい商業集積地としての開発が期待されているエリアで、ゆめタウンが、商業エリア活性化への起爆剤となることが期待されています。地域と共に夢を広げるゆめタウンの、新しい挑戦にご注目ください。



代表取締役社長 山西 泰明    廿日市市議会議長 角田 俊司    廿日市長 眞野 勝弘

ゆめタウン廿日市(仮称) 地域からエリア繁栄の起爆剤として期待！

平成26年  
OPEN 予定

店舗概要 ・敷地面積/約44,600㎡ ・延床面積/約96,000㎡ ・店舗面積/約22,400㎡ ・駐車台数/約2,400台

### 夢とロマンのつまった驚きのある店舗を創造します。

「ゆめタウン廿日市」が進出するシビックコア地区は、廿日市市が水辺のにぎわいスポットとして都市計画を進めているエリアで、将来は広島都市圏の中でも新たなタイプの商業ゾーンとなることが期待されています。

そうした地元の期待に応えるため、イズミではこれまでの「ゆめタウン」の経験と実績に加え、さらにパワーアップした店舗が必要と判断。規模の大きさだけでなく、「驚き」も「わくわく」も最大級の店舗を作りたいと考え、夢とロマンあふれるプランを進行しています。

完成すれば廿日市内の活性化を促し、広島市や岩国市からも多くのお客様を集める魅力的なエリアになるはずで。



## 平成27年までの3カ年で計30店舗を目標に、今年度は8店の新しいyoumeマートを計画！

消費者の日常に、より接触していくための試みが、小商圏向けの戦略型店舗です。

新たに誕生した「youmeマート」がその役割を担います。

イズミでは地域ドミナント戦略を推進していくためには重要な業態と位置づけ

今後3カ年で合計30店舗を市場に投入する計画です。

すでに開店している「youmeマート小倉東店」「youmeマート下関駅店」、

「youmeマート新宮店」に加え、今年度中に全8店舗の出店を予定。

今後の持続的成長のために、計画を確実に実行していきます。



### 平成25年度予定している出店予定店舗

- ◎二葉の里(広島県広島市) ◎西栄(広島県大竹市) ◎阿賀(広島県呉市)
- ◎玉名(熊本県玉名市) ◎田崎(熊本県熊本市) ◎棕野(山口県下関市)

## youmeマート下関駅店 (山口県下初の駅ナカ型スーパー)

平成25年3月27日  
**OPEN!**

店舗概要 ・店舗面積/約1,270㎡ ・営業時間/7:00~21:00

## イズミ初の「駅ナカ」店舗で、乗降客の日常ニーズに対応！

「youmeマート下関駅店」は、JR下関駅名店街のリニューアルにあわせて出店した駅テナントタイプのyoumeマートです。

JR下関駅は毎日1万人の乗降客があり、その立地特性をいかして、「少量」「即食」「健康」「お土産」をコンセプトに、パンや惣菜コーナーなどのデイリーユースの食材を充実させ、少量販売や簡易包装、半調理簡便化商品など、仕事帰りの利用を強く意識した品揃えとなっています。

また駅直結という特性をいかしてセルフ式カフェも、イズミ初の試み。1杯100円で本格的なコーヒーを提供しています。



## youmeマート新宮店

福岡市郊外のJR新宮中央駅に隣接して誕生！

平成25年4月11日  
**OPEN!**

店舗概要 ・敷地面積/約11,000㎡ ・延床面積/約5,400㎡ ・店舗面積/約3,400㎡ ・駐車台数/約230台 ・駐輪台数/約220台

## イズミ直営ファッションセンター「ゆめスタイル」初投入！

JR新宮中央駅は、平成22年に開業した新しい駅で、周辺は新興住宅地の開発が進み、IKEAやヤマダ電機などの大型専門店が多数出店し続けている成長著しいエリアです。

「youmeマート新宮店」は、駅に隣接した立地で、通勤客の利用を想定し「即食」「簡便」をキーワードに、毎日の暮らしに便利な商品を充実させています。このエリアにはトレンドに敏感な若い世代が多いことから、イズミ直営のファッションセンター「ゆめスタイル」を初投入。食品スーパーとのコラボレーション効果で、新しいニーズを呼び込んでいます。



## youmeマート西栄店(仮称)

youmeマートとして広島県内1号店！

平成25年・秋  
**OPEN 予定**

店舗概要 ・敷地面積/約8,800㎡ ・延床面積/約2,600㎡  
・店舗面積/約1,800㎡ ・駐車台数/約98台  
・駐輪台数/約55台

## JR駅と国道に近くアクセス性に優れた住宅地に立地！

「youmeマート西栄店」の立地はJR大竹駅東側で国道2号線にも近く、周辺は大型福祉施設や公園なども整備された住宅地です。周辺住民の日常の暮らしに便利な商品を充実させて、地域の賑わい創出や定住促進にも役立つ店づくりをめざします。



## youmeマート玉名店(仮称)

玉名市中心部にyoumeマート熊本県下1号店！

平成25年・秋  
**OPEN 予定**

店舗概要 ・敷地面積/約19,800㎡ ・延床面積/約9,900㎡  
・店舗面積/約7,000㎡ ・駐車台数/約460台  
・駐輪台数/約220台

## 地域密着のライフスタイルセンターとして！

「youmeマート玉名店」は、熊本県玉名市役所やJR玉名駅などが集う市内中心部に立地します。毎日の生活に必要な品物が全て揃う便利なお店をめざして、食品スーパーを中心に、ファッションや雑貨、飲食、美容機能等、25のテナントさまと協力して、便利な店づくりを目指します。





## 希望と感動にあふれた平成25年入社式

4月1日、イズミグループ((株)イズミ、(株)ゆめカード、(株)イズミテクノ、イズミ・フード・サービス(株)、(株)ヤマニシ)の合同入社式を行いました。  
入社式には新入社員の保護者の方々もお招きして、直前の合宿研修の成果を発表するだけでなく、家族への感謝の言葉なども披露し、笑顔と感動にあふれた入社式となりました。



イズミでは新社員がスムーズに職場に馴染み活躍できるよう、入社前から研修や懇談会を行っています。本年度の入社式直前には、新社員全員が参加する、5泊6日の合宿研修を行いました。  
合宿研修は「学生から社会人への意識の切り替え」と「イズミ社員としての基礎を学び身に付ける」こと、「チームワークを学ぶ」ことが目的です。新社員達は、合宿で社会人やイズミ社員としての基礎を身につけるとともに、仲間を信頼し合い助け合うことを学び、入社式からイズミ社員の一員として、確かな一歩をあゆみ始めました。



## 泉美術館で中国新聞「読者の写真展」を開催

広島市西区商工センターで運営している「泉美術館」では、地域社会の文化振興に役立てていただきたいとの思いから、所蔵品のコレクション展示だけでなく、地域に開放した企画展も開催しています。  
平成25年1月30日から3月2日まで、中国新聞主催の写真コンテスト「読者の写真2012」の展示会が開催されました。これは平成24年(2012年)に中国新聞に読者から応募された写真11,382点の中で、特に優秀な作品61点を選んで展示した写真展で、芸術性の高い作品、ニュース性に富んだ作品の数々が並べられました。



## 接客技術日本一をめざして！ ゆめタウンから2名出場。

全国のSCデベロッパー、テナントなどが加盟する日本ショッピングセンター協会では毎年、スタッフの接客技術向上を目的とした「ロールプレイングコンテスト」を開催しています。

コンテストは全国7支部で支部大会を行い、その優秀者だけが全国大会に進出し、そこでSC接客日本一を競い合う形式です。支部大会を勝ち抜くだけでも難関といわれるこのコンテストにおいて、平成24年度は、テナントさまから坂東真佐美さん、栗木良太さんの2名が支部大会に優勝。1月に行われた全国大会でも、ステージ上で笑顔いっぱいに日頃の接客スキルを発揮していました。



## ともに「夢」を育てるイズミグループ

さらなる効率アップ、収益力アップをめざして

イズミグループは、小売事業を中核とし、無駄のないスリムなグループ構造を維持すると同時に、その他関連事業とのシナジー効果を追求してまいります。

各グループ企業が、それぞれの特性を活かしつつ、積極的に事業展開することで、お客様に新たな驚きと感動をお届けしてまいります。



熊本ナンバーワンのスーパーマーケットを目指します。



### 株式会社 ゆめマート

平成24年9月に(株)西紅を子会社化し、熊本県下にゆめマート14店舗、ハローグリーンEVERY5店舗と19店舗体制となりました。

これまで取り組んできた地元商品の品揃えをさらに充実させ、地域のお客様の生活になくてはならない、必要とされる店となるよう、取り組んでまいります。

併せて、電子マネー「ゆめか」サービスの提供や、ギフトシーズンにはゆめタウンカタログによる全国的な商品の提供など、イズミグループのスケールメリットも十分に活かして、お客様満足度の向上を図ってまいります。



イズミテクノは外部への業務拡大をめざし、新しい仕事にチャレンジしています。

### 株式会社 イズミテクノ

イズミテクノは、ゆめタウンやイズミなどの大型施設の管理・運営、警備、クリーンサービスの業務をとおして、安全で快適な環境を提供する企業です。その技術ノウハウときめ細かなサービス精神をいかして、現在は公共施設の指定管理者など、グループ外部にも活動領域を広げています。

その一環として、広島市中心部にある広島県民文化センターの指定管理業務も受注。本施設は多目的ホールの他、宿泊施設、大学施設もあり、人と人とのふれあいをテーマに、豊かなコミュニケーションを築く為の複合・多機能スペースを提供しています。このように新しい仕事にチャレンジすることで、地域の活性化にも貢献したいと考えています。



広島県民文化センター



電子マネー「ゆめか」会員300万人を実現します。

### 株式会社 ゆめカード

平成24年度は電子マネー「ゆめか」拡大の為セルフチャージ機の導入、クレジット一体型カードの発行などのサービス改善と会員募集の強化に取り組み、平成25年4月には会員様が150万人を突破いたしました。また、ゆめかの成長に伴い業界での注目度も増し、銀行や流通系企業に使っていただく提携の話も進んでおります。

今後は、平成25年8月末までの会員様300万人実現を目指し、シニア向けカード(ゆめかプラス)の発行など、より一層のサービス改善と会員拡大を図ってまいります。



電子マネー  
ゆめか



youmeカード(ゆめか一体型)



ゆめかプラス

『笑顔いっぱい 元気一番です!』が私達の原点です。

### イズミ・フード・サービス 株式会社

サーティワンアイスクリームの記念すべき31店舗目の出店となったゆめタウン徳島に続き、当期は平成25年1月に32店舗目をゆめタウン斐川に、2月には33店舗目をゆめタウン安古市に新規出店いたしました。

また、平成25年度上期にはサンモール店への出店で34店舗となり、当社は世界NO.1の店舗保有FCとなります。さらに、改装も10数店舗を計画しており、既に改装した店舗では多くのお客様のご支持をいただいております。

今後も、『笑顔いっぱい 元気一番です!』を原点とし、得手事業を伸ばし出店と改装を進めてまいります。



## 業績ハイライト

営業収益

5,355 億円

前年同期比  
103.8%

経常利益

271.0 億円

前年同期比  
115.1%

当期純利益

161.8 億円

前年同期比  
146.3%

### 連結決算の推移

単位:百万円

	平成22年2月期	平成23年2月期	平成24年2月期	平成25年2月期	平成26年2月期計画
営業収益	492,140	502,379	515,875	535,510	557,000
前期比	98.4%	102.1%	102.7%	103.8%	104.0%
営業利益	20,410	21,783	24,254	27,949	28,700
前期比	100.0%	106.7%	111.3%	115.2%	102.7%
経常利益	19,730	20,949	23,539	27,102	27,500
前期比	100.5%	106.2%	112.4%	115.1%	101.5%
当期純利益	8,752	9,941	11,062	16,187	16,200
前期比	68.7%	113.6%	111.3%	146.3%	100.1%
総資産	388,277	368,584	370,377	379,824	—
純資産	123,745	132,513	125,389	126,139	—
1株当たり利益	91.86円	104.35円	123.74円	207.01円	216.41円
1株当たり純資産	1,228.70円	1,286.20円	1,388.45円	1,541.32円	—

### 単体決算の推移

単位:百万円

	平成22年2月期	平成23年2月期	平成24年2月期	平成25年2月期	平成26年2月期計画
営業収益	469,867	480,602	494,158	514,105	534,000
前期比	102.6%	102.3%	102.8%	104.0%	103.9%
営業利益	16,761	17,716	19,948	23,431	24,400
前期比	99.0%	105.7%	112.6%	117.5%	104.1%
経常利益	15,463	16,505	19,086	22,448	23,100
前期比	96.6%	106.7%	115.6%	117.6%	102.9%
当期純利益	7,843	8,180	8,965	12,508	14,000
前期比	42.5%	104.3%	109.6%	139.5%	111.9%
総資産	337,639	319,783	320,942	324,183	—
純資産	99,812	106,301	96,502	95,766	—
1株当たり配当金	16.00円	16.00円	20.00円	38.00円	40.00円

## 連結財務諸表

### [連結]貸借対照表

単位:百万円

	前期 H24.2.29	当期 H25.2.28		前期 H24.2.29	当期 H25.2.28
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	61,040	64,372	流動負債	102,924	111,881
現金及び預金	6,260	6,862	支払手形及び買掛金	21,715	21,517
受取手形及び売掛金	20,323	22,134	短期借入金	32,025	41,625
商品	20,677	21,384	1年内返済予定の長期借入金	23,969	23,579
仕掛品	17	16	未払金	9,403	7,121
原材料及び貯蔵品	267	286	未払法人税等	6,179	6,541
繰延税金資産	2,677	2,579	賞与引当金	1,482	1,466
その他	11,647	11,771	ポイント引当金	1,584	1,655
貸倒引当金	△ 830	△ 661	その他	6,563	8,374
固定資産	309,336	315,451	固定負債	142,063	141,802
有形固定資産	268,891	274,687	長期借入金	101,605	101,625
建物及び構築物	139,428	131,862	リース債務	486	557
機械装置及び運搬具	1,375	1,260	預り敷金保証金	24,066	23,467
土地	121,051	131,876	退職給付引当金	6,070	6,358
リース資産	476	596	役員退職慰労引当金	962	1,203
建設仮勘定	791	3,876	利息返還損失引当金	482	403
その他	5,767	5,215	繰延税金負債	857	1,193
無形固定資産	7,059	7,012	資産除去債務	6,796	6,399
のれん	—	545	その他	734	592
借地権	4,108	4,081	負債合計	244,987	253,684
ソフトウェア	1,298	1,148	(純資産の部)		
その他	1,651	1,236	株主資本	112,407	115,067
投資その他の資産	33,385	33,751	資本金	19,613	19,613
投資有価証券	3,874	4,810	資本剰余金	22,282	22,282
長期貸付金	1,929	1,520	利益剰余金	87,555	80,942
繰延税金資産	5,279	5,339	自己株式	△17,043	△ 7,770
差入敷金及び保証金	17,623	17,249	その他の包括利益累計額	△ 105	312
その他	5,465	5,253	少数株主持分	13,087	10,759
貸倒引当金	△ 786	△ 421	純資産合計	125,389	126,139
資産合計	370,377	379,824	負債・純資産合計	370,377	379,824

**資産**  
3,798 億円  
前期末比 ▶ 94億円増加

店舗新設及び次期に予定している本社移転等の設備投資により、有形固定資産は、減価償却実施後で5,795百万円増加しました。また、受取手形及び売掛金は、クレジット取扱高の増加により1,810百万円増加しました。

**負債**  
2,536 億円  
前期末比 ▶ 86億円増加

短期借入金及び長期借入金は、設備投資及び自己株式取得資金に充当するため、9,230百万円増加しました。

**純資産**  
1,261 億円  
前期末比 ▶ 7億円増加

期中に自己株式を6,025千株取得(買取請求分を含む)した一方、利益剰余金を原資として16,411千株を消却しました。その結果、自己株式の残高は9,273百万円減少しました。また、少数株主持分は、子会社株式を追加取得したこと等により2,328百万円減少しました。これらの結果、自己資本比率は30.4%となり、前期末に比べて0.1ポイント増加しました。

## 連結財務諸表

### [連結] 損益計算書

	単位: 百万円	
	前期 H23.3.1~H24.2.29	当期 H24.3.1~H25.2.28
<b>営業収益</b>	<b>515,875</b>	<b>1</b> → <b>535,510</b>
売上高	491,955	510,438
売上原価	385,769	401,857
売上総利益	106,185	108,580
営業収入	23,919	25,071
営業総利益	130,105	133,652
販売費及び一般管理費	105,851	105,703
<b>営業利益</b>	<b>24,254</b>	<b>27,949</b>
営業外収益	1,490	1,237
受取利息及び配当金	238	210
仕入割引	389	386
債務勘定整理益	111	94
その他	751	545
営業外費用	2,206	2,084
支払利息	1,918	1,836
その他	287	248
<b>経常利益</b>	<b>23,539</b>	<b>2</b> → <b>27,102</b>
特別利益	2,851	1,352
固定資産売却益	11	32
関係会社株式売却益	—	117
有価証券売却益	2,518	—
負ののれん発生益	—	745
貸倒引当金戻入額	62	400
その他	259	56
特別損失	3,134	1,332
固定資産売却損	3	151
固定資産除却損	736	568
減損損失	326	470
資産除去債務会計の影響額	1,844	—
その他	224	142
税金等調整前当期純利益	23,256	27,122
法人税等	9,052	10,506
少数株主利益	3,141	429
<b>当期純利益</b>	<b>11,062</b>	<b>3</b> → <b>16,187</b>

単位: 百万円

**1 営業収益 5,355億円** 前期比 ▶ 103.8%

売上高の増加は、主に前期及び当期の店舗新設によるものです。なお、単体の既存店売上高は前期比100.1%となりました。  
また、営業収入の増加は、主にテナント数増加に伴う共同管理費収入によるものです。

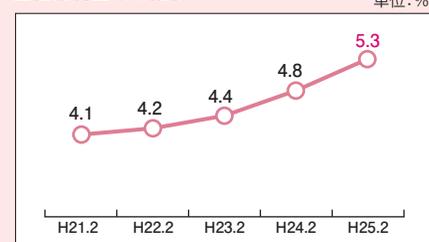
**2 経常利益 271.0億円** 前期比 ▶ 115.1%

堅調な販売動向を受けて売上総利益が増加するとともに、人的生産性の改善による人件費の抑制や広告宣伝費等諸経費の節減に努めました。  
これらの結果、経常利益は最高益を更新する増益を果たすとともに、売上対比率も5.3%前期比0.5ポイント改善しました。

**3 当期純利益 161.8億円** 前期比 ▶ 146.3%

特別利益は子会社株式の追加取得による負ののれん発生益745百万円等を計上しました。一方、特別損失は固定資産除却損568百万円等を計上しました。  
また、1株当たり当期純利益は、期中に自己株式を6,025千株取得した効果も加わり、207.01円(前期比83.27円増)となりました。

■ 経常利益率の推移



### [連結] キャッシュ・フロー計算書

	単位: 百万円	
	前期 H23.3.1~H24.2.29	当期 H24.3.1~H25.2.28
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前純利益	23,256	27,122
減価償却費	13,854	13,464
減損損失	326	470
固定資産除却損	736	568
負ののれん発生益	—	△ 745
売上債権の増減額	△ 1,867	△ 1,778
法人税等の支払額	△ 9,050	△ 10,245
その他	△ 1,694	△ 1,661
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>25,561</b>	<b>27,196</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△ 12,058	△ 20,066
無形固定資産の取得による支出	△ 835	△ 432
その他	3,212	142
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△ 9,682</b>	<b>△ 20,356</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長短借入金の変動	△ 3,143	9,230
自己株式の取得による支出	△ 17,041	△ 11,137
配当金の支払額	△ 1,492	△ 2,410
その他	△ 257	△ 1,955
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△ 21,934</b>	<b>△ 6,272</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 0	34
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 6,055	602
現金及び現金同等物の期首残高	12,316	6,260
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,260	6,862

単位: 百万円

**営業活動によるキャッシュ・フロー 271億円の収入**

・主な収入項目は、税金等調整前当期純利益27,122百万円、減価償却費13,464百万円です。  
・主な支出項目は、法人税等の支払額10,245百万円、売上債権の増加額1,778百万円です。  
・前期と比較すると1,634百万円増加していますが、これは主に堅調な業績を受けて税金等調整前当期純利益が増加したことによるものです。

**投資活動によるキャッシュ・フロー 203億円の支出**

・主な支出項目は、有形固定資産の取得による支出20,066百万円です。これは主に、前期新設店舗に係る設備未払金の決済や今後の店舗新設及び本社移転に関わるものです。

**財務活動によるキャッシュ・フロー 62億円の支出**

・長短借入金は9,230百万円増加しました。この資金は主に設備投資及び自己株式の所得に充当しています。

### [連結] 株主資本等変動計算書

	株主資本					その他の包括利益累計額	少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	合計			
当期首残高	19,613	22,282	87,555	△ 17,043	112,407	△ 105	13,087	125,389
連結会計年度中の変動額								
剰余金の配当			△ 2,390		△ 2,390	—		△ 2,390
当期純利益			16,187		16,187	—		16,187
自己株式の取得				△ 11,137	△ 11,137	—		△ 11,137
自己株式の消却		△ 20,410		20,410	—	—		—
その他資本剰余金の負の残高の振替		20,410	△ 20,410		—	—		—
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)					—	417	△ 2,328	△ 1,910
連結会計年度中の変動額合計	—	—	△ 6,613	9,273	2,659	417	△ 2,328	749
当期末残高	19,613	22,282	80,942	△ 7,770	115,067	312	10,759	126,139

単位: 百万円

# 単体財務諸表

## [単体] 貸借対照表

単位:百万円

	前期 H24.2.29	当期 H25.2.28		前期 H24.2.29	当期 H25.2.28
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	36,713	37,262	流動負債	89,491	93,006
現金及び預金	2,819	2,985	買掛金	19,317	19,091
売掛金	5,314	5,902	短期借入金	24,282	30,032
商品	19,481	20,043	1年内返済長期借入金	23,035	22,605
繰延税金資産	2,435	2,243	未払金	9,706	6,580
短期貸付金	3,111	2,371	未払法人税等	5,203	5,475
その他	3,770	3,807	賞与引当金	1,277	1,254
貸倒引当金	△ 219	△ 90	ポイント引当金	1,546	1,651
固定資産	284,229	286,921	その他	5,120	6,315
有形固定資産	239,169	242,567	固定負債	134,948	135,411
建物	122,860	116,781	長期借入金	98,541	99,436
土地	103,114	113,726	退職給付引当金	5,396	5,621
建設仮勘定	302	716	預り敷金	19,716	19,675
その他	12,891	11,344	預り保証金	2,517	2,212
無形固定資産	6,344	5,740	資産除去債務	6,747	6,305
借地権	4,094	4,067	その他	2,028	2,160
その他	2,249	1,673	負債合計	224,439	228,417
投資その他の資産	38,715	38,612	(純資産の部)		
投資有価証券	2,619	2,955	株主資本	96,367	95,348
関係会社株式	2,711	3,150	資本金	19,613	19,613
繰延税金資産	4,446	4,549	資本剰余金	22,282	22,282
差入敷金	11,968	11,869	利益剰余金	71,512	61,220
差入保証金	10,375	9,893	自己株式	△17,041	△7,768
その他	6,944	6,513	評価・換算差額等	135	418
貸倒引当金	△ 350	△ 319	純資産合計	96,502	95,766
資産合計	320,942	324,183	負債・純資産合計	320,942	324,183

## 新規出店と閉店

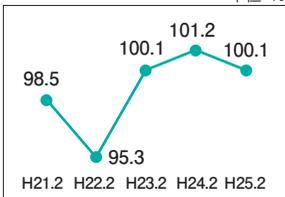
期末店舗数	92 店舗
新設	4 店舗
閉店	- 店舗

## 既存店売上高前年比

既存店売上高前年比	100.1%
客数前年比	98.5%
客単価前年比	100.7%

## ■ 既存店売上高前年比

単位:%



## [単体] 損益計算書

単位:百万円

	前期 H23.3.1~H24.2.29	当期 H24.3.1~H25.2.28
営業収益	494,158	514,105
売上高	470,565	489,416
売上原価	375,162	392,036
売上総利益	95,402	97,380
営業収入	23,592	24,689
営業総利益	118,995	122,069
販売費及び一般管理費	99,047	98,638
営業利益	19,948	23,431
営業外収益	1,355	1,062
受取利息及び配当金	248	226
仕入割引	388	385
その他	718	450
営業外費用	2,216	2,045
支払利息	1,951	1,861
その他	265	183
経常利益	19,086	22,448
特別利益	232	453
固定資産売却益	0	32
投資有価証券売却益	216	4
特別配当金	-	416
その他	15	-
特別損失	2,924	1,667
固定資産売却損	1	149
固定資産除却損	670	472
減損損失	229	308
抱合せ株式消滅差損	-	736
資産除去債務会計の影響額	1,806	-
その他	216	-
税引前当期純利益	16,395	21,233
法人税等調整額	7,429	8,725
当期純利益	8,965	12,508

## [単体] 株主資本等変動計算書

単位:百万円

	株主資本				評価・換算差額等	純資産合計	
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式			
当期首残高	19,613	22,282	71,512	△ 17,041	96,367	135	96,502
事業年度中の変動額							
剰余金の配当		-	△ 2,390		△ 2,390	-	△ 2,390
当期純利益		-	12,508		12,508	-	12,508
自己株式の取得		-	-	△ 11,137	△ 11,137	-	△ 11,137
自己株式の消却		△ 20,410	-	20,410	-	-	-
その他資本剰余金の負の残高の振替		20,410	△ 20,410		-	-	-
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額(純額)		-	-		-	282	282
事業年度中の変動額合計	-	-	△ 10,292	9,273	△ 1,019	282	△ 736
当期末残高	19,613	22,282	61,220	△ 7,768	95,348	418	95,766

## 営業収益

5,141 億円 前期比 104.0%

## 経常利益

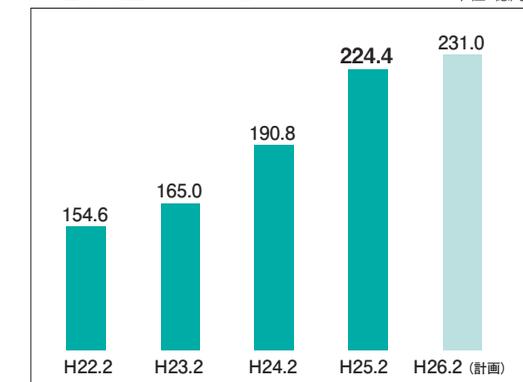
224.4 億円 前期比 117.6%

## 当期純利益

125.0 億円 前期比 139.5%

## ■ 経常利益(単体)の推移

単位:億円



■ 会社概要

(平成25年2月28日現在)

設立年月日 昭和36年10月27日  
 本社所在地 広島市南区京橋町2番22号  
 TEL 082-264-3211 (代)  
 資本金 19,613,856,196円  
 従業員 正社員 2,420名  
 パートタイマー 4,568名(1日8時間換算)  
 店舗数 92店

■ 中国地方 55店

広島県 29店 岡山県 10店  
 山口県 10店 島根県 6店

■ 九州地方 23店

福岡県 12店 佐賀県 3店  
 大分県 2店 長崎県 1店  
 熊本県 5店

■ その他 14店

香川県 3店 兵庫県 4店  
 徳島県 1店 その他 6店

■ 役員一覧

(平成25年5月23日現在)

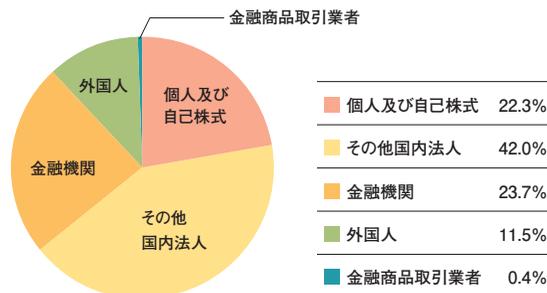
取締役会長 山西 義政  
 代表取締役社長 山西 泰明  
 専務取締役 梶原 雄一朗  
 専務取締役 三家本 達也  
 専務取締役 吉田 恒彦  
 取締役 中村 豊三  
 常勤監査役 川本 邦昭  
 監査役 松原 治郎  
 監査役 通堂 泰幸

■ 株式の状況

(平成25年2月28日現在)

会社が発行する株式の総数 195,243,000株  
 発行済株式の総数 78,861,920株  
 株主数 4,644名  
 1単元の株式数 100株

■ 単元株式の所有状況



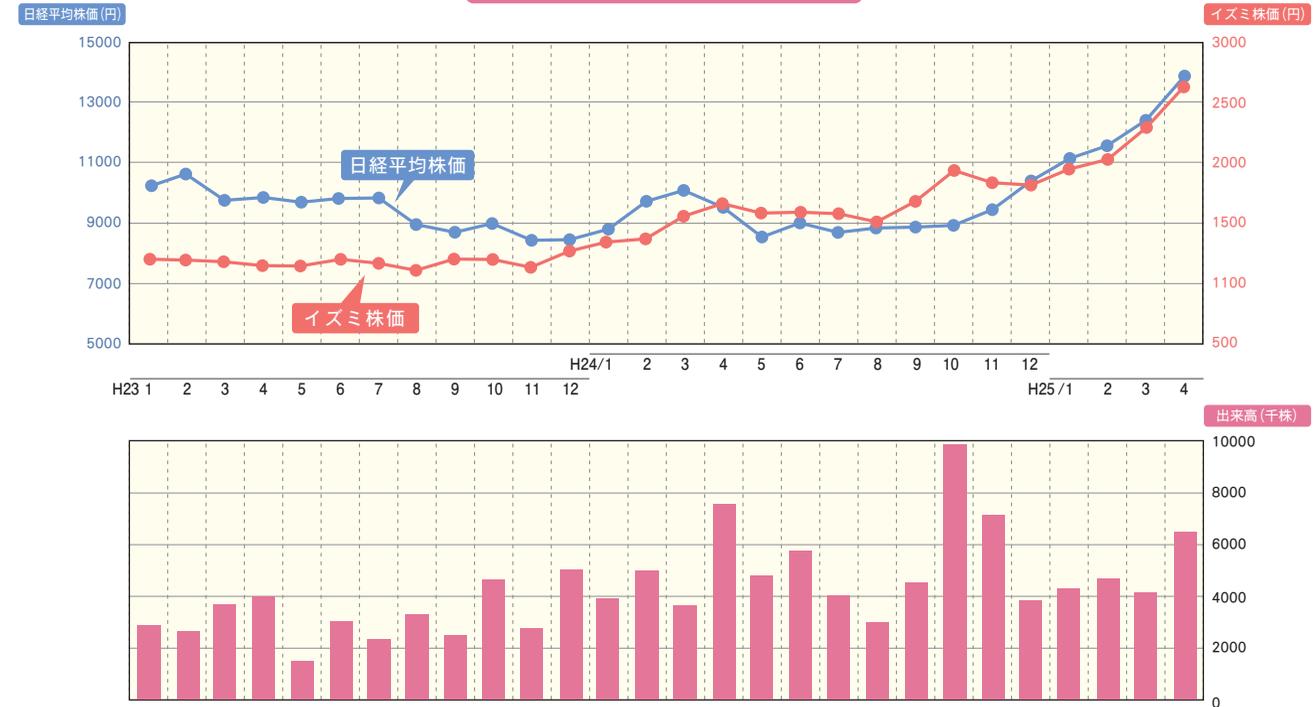
■ 大株主の状況

(平成25年2月28日現在)

株主名	持株数	持株比率
(有)泉屋	11,501千株	15.4%
山西ワールド(有)	8,433千株	11.3%
(株)泉興産	4,104千株	5.5%
日本スタートラスト信託銀行(株)(信託口)	2,839千株	3.8%
日本生命保険(相)	2,614千株	3.5%
イズミ広島共栄会	2,521千株	3.4%
(株)広島銀行	2,362千株	3.2%
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	2,257千株	3.0%
山西 泰明	2,033千株	2.7%
第一生命保険(株)	2,030千株	2.7%

(注)持株比率は、自己株式(4,000千株)を控除して計算しています。

■ 株価の推移



■ 株主優待制度

■ 株主ご優待券またはギフト券

毎年2月末日および8月31日現在、当社株式100株以上ご所有の株主の皆様に対して、「株主ご優待券」か「ギフト券」をお選びいただき、ご所有株式数に応じて以下の通りお贈りいたします。

ご所有株式数	一回当たり贈呈額	
	株主ご優待券の場合	ギフト券の場合
100株以上	5枚 (1,000円相当)	500円相当
1,000株以上	25枚 (5,000円相当)	一律 2,000円相当
2,000株以上	50枚 (10,000円相当)	
4,000株以上	100枚 (20,000円相当)	
6,000株以上	150枚 (30,000円相当)	
8,000株以上	200枚 (40,000円相当)	
10,000株以上	250枚 (50,000円相当)	

※「株主ご優待券」は、2千円以上のお買上につき、2千円ごとに各1枚(200円割引券)をご使用いただけます。

■ 泉美術館ご招待券の贈呈

平成25年2月28日現在で当社株式を1単元以上ご所有の株主の皆様へ「泉美術館ご招待券」を贈呈させていただきます。

本物の文化とやすらぎを…。

財団法人 **泉美術館**



- 開館時間 午前10時から午後5時 (入館は午後4時30分まで)
- 休館日 月曜日(祝祭日は開館)、年末年始 ※展示替えによる臨時休館あり
- 住所 〒733-0833 広島市西区商工センター2丁目3番1号 エクセル5階 TEL (082) 276-2600
- ホームページ <http://www.izumi-museum.jp/>

## 株主メモ

事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会	毎年5月開催
基準日	定時株主総会 毎年2月末日 期末配当金 毎年2月末日 中間配当金 毎年8月31日
公告掲載新聞	日本経済新聞
上場金融商品取引所	東京証券取引所市場第一部 大阪証券取引所市場第一部
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
[郵便物送付先] <sup>(※)</sup>	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
[電話照会先] <sup>(※)</sup>	☎ 0120-782-031

(※)平成25年1月より郵便物送付先・電話照会先が上記のとおり変更となっております。

インターネットホームページアドレス  
<http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

### ■ 株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について

証券会社の口座をご利用の場合は、三井住友信託銀行ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。  
証券会社の口座のご利用がない株主様は、上記電話照会先までご連絡ください。

### ■ 特別口座について

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。